



バグダッドLO日々業務報告(1月7日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは
2 特記事項	
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	なし

バグダッド 日 誌 (1月7日)

○ 訪問調整

- 本邦からのイラク訪問受け入れの窓口は、MNF-I SCJS (Secretary Joint Staff) という部署が行っている。本邦からタンバに提出されたRFV(訪問要請)が、CFLCCとMNF-IIに届いた後、正式の調整が開始される。いかなる訪問も調整系統は全て同じである。(超VIPの場合は異なる場合もあり、別途確認・調整が必要)
- イラク訪問の調整をサマーワから受けた後、事前に担当者(米陸軍少佐)に「耳打ち」をして、概ねの下調整をしておく。彼も必要な部署と概略の調整してくれる。正式文書がタンバから届く時点は、概ね調整ができており、細部日程、表敬予定者との懇談時程・内容等及び出迎え・送迎の細部を詰めていくことになる。
- 我々の派遣間、長官、陸幕長をはじめ大勢の方々がイラクを訪問され、こうした調整も場数を踏むことができた。最初の頃は、部署も担当者も「頭」でしか知らないため、「無駄な調整」や「無理な依頼」をして、相手を困らせ、サマーワや日本にもずいぶん迷惑をかけた。私が最も失敗したのもここでの調整である。
- 特に選挙の前後は、訪問者受け入れ制限や航空機の運航制限があったことから、我々だけでなく各国のLOや米軍スタッフも相当苦労していた。最近では、こうした制限も解除されるとともに、陸幕長の訪問調整の頃から顔見知りの担当者があらかじめ色々手を打ってくれたりして、調整もスムーズにすすむようになった。
- 「今度の訪問者は俺の元上司なんだ。ヨロシク！」とあえて担当者に話すと、「そりゃ大変だ！しっかりフォローするよ。」と応じてくれた。元上司に気を遣うのは、日本のみならず、多国籍軍内でも共通のようだ。

○ 新着任者は……

- 日本コンテナとシャワーへ行く道路には、デョットした「段差」がある。私やでも自転車で軽く超えられる程度でたいしたものではない。
- ある日、コンテナを出たところで、自転車に乗った米兵がこちら向かってるのが見えた。黒人の米兵で見るからに精悍そうであった。(米国のプロバスケットリーグ、アメフトリーグで活躍する黒人選手は、彼のような雰囲気なんだろうな……)などと思いながら、彼の様子を見ていた。
- するとこの米兵、その「段差」のところで見事に転んだ。近寄って起きあがるのを助けてあげた。彼は自分でもよほど恥ずかしかったのか「いやあ、まだ来たばかりなもので……」などと訳の分からない言訳を始めた。
- 真偽は別として、新着任者は転びやすいそうである。5次要員の皆さんも気をつけてください。転んで恥ずかしい思いをしたら「いやあ、まだ来たばかりなもので……」をお勧めします。外人はきっと助けてくれる……と思います。